

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 あさひ会

作成日 令和6年5月23日

作成者 高野健

1. 理事会・評議員会・評議員選任・解任委員会

開催日	出席人数	議題
第94回 理事会 5月26日（金）	理事5名出席 監事2名出席 オブザーバー1名	第1号議案 令和4年度事業報告承認の件 第2号議案 令和4年度決算承認の件 第3号議案 業務監査、会計監査の件 第4号議案 役員候補者の件 第5号議案 評議員会開催日程の件 第6号議案 服部西町ホーム短期入所予算承認の件 第7号議案 服部西町ホーム運営規程承認の件
第65回 評議員会 6月13日（火）	評議員6名 欠席者1名 理事1名 オブザーバー1名	第1号議案 令和4年度事業報告承認の件 第2号議案 令和4年度決算承認の件 第3号議案 役員選任の件
第95回 理事会 6月13日（火）	理事5名出席 監事2名出席 オブザーバー1名	第1号議案 理事長選任の件 第2号議案 業務執行理事選任の件
第96回 理事会 12月6日（水）	理事6名出席 監事1名出席 オブザーバー1名	第1号議案 経理規程変更承認の件 第2号議案 期中監査承認の件
第97回 理事会 1月12日（金）		社会福祉法第45条の14第9項により準用される一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第26条第2項の規定に基づき、理事会の決議の省略により当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。 第1号議案 空調設備工事者決定の件
第98回 理事会 3月27日（水）	理事5名出席 監事2名出席 オブザーバー1名	第1号議案 令和6年度事業計画承認の件 第2号議案 役員賠償責任補償制度加入の件 第3号議案 運営規程変更承認の件 第4号議案 令和6年度予算承認の件

2. 利用者年齢層

あさひ会作業所						
		30歳未満	40歳以上	50歳以上	60歳以上	合 計
男		1	3	8	1	13人
女			3	3	1	7人
東豊中サンライズ						
				50歳以上	60歳以上	合 計
男				4	1	5人
服部西町ホーム						
			40歳以上	50歳以上	60歳以上	合 計
男			2	3		5人
女			2	2	1	5人

3. 職員配置

3月31日時点

	あさひ会作業所 20名	東豊中サンライズ5名	服部西町ホーム10名
管理者	常勤1名	常勤1名	
サービス管理責任者	常勤1名	(兼務)	
生活支援員	常勤3名 非常勤5名 派遣1名	常勤1名 非常勤3名	非常勤11名
世話人		非常勤4名	非常勤2名
調理員	外部委託1名		
運転手	非常勤1名		
看護師	非常勤1名		
合 計	常勤5名 非常勤7名 派遣1名 委託1名 計14名	常勤2名 非常勤7名 計 9名	非常勤13名 計 13名

4. 雇用関係

採用者	常勤	非常勤 派遣	年齢層
あさひ会作業所	1名	1名 1名	・常勤 30代1名 ・非常勤 60代1名・派遣 40代1名
東豊中サンライズ		3名 3名	・非常勤 30代1名、40代2名 ・派遣 60代3名
服部西町ホーム		3名 4名	・非常勤 30代1名、60代2名 ・派遣 60代～70代4名

退職者	常勤	非常勤 派遣	在籍年数
あさひ会作業所	3名	1名	・常勤3名（3ヶ月）（1年）（4年9ヶ月） ・非常勤1名（1年10ヶ月）
東豊中サンライズ		4名 3名	・非常勤4名（6年4ヶ月）（2年9ヶ月）（1年）（3ヶ月） ・派遣3名（2ヶ月～4ヶ月）契約満了
服部西町ホーム		2名 4名	・非常勤2名（2年）（1ヶ月） ・派遣4名（2ヶ月2名）（6ヶ月1名）（8ヶ月1名）契約満了

5. 年次有給休暇取得

あさひ会作業所	有給対象職員数 13名
有給保有日数	143日
有給取得日数	183日
取得率	78%
東豊中サンライズ	有給対象職員数 10名
有給保有日数	58.5日
有給取得日数	96日
取得率	60%
服部西町ホーム	有給対象職員数 12名
有給保有日数	22日
有給取得日数	56日
取得率	39%

6. 会議状況

(内部会議)	開催状況	対象者
スタッフ会議	月1回	生活支援員
支援評価・ケース総括	6ヶ月毎	生活支援員・ホーム支援員
個別支援計画モニタリング	3ヶ月毎	生活支援員・ホーム支援員
個別支援計画担当者会議	6ヶ月毎	生活支援員・ホーム支援員
グループホーム告知、周知	個別対応	ホーム支援員
授産事業会議	年1回	生活支援員
自主製品会議	年1回	生活支援員
食事運営会議	年1回	作業所スタッフ・調理師
定例会	年2回	生活支援員

(外部会議)	開催状況	対象者
啓発活動委員会 本体会議	年4回	啓発活動運営委員
なかまの店運営委員会	年6回	なかまの店参加事業所
グループホーム事業者連絡会	年6回	グループホーム事業者

7. 研修報告

研修名	開催状況	内容
新規採用研修 【グループホーム職員】【作業所職員】	採用時	・服薬介助で注意すべき点 ・虐待防止研修
虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会 【グループホーム職員】【作業所職員】	6月	・虐待防止研修 ・労働者の疲労備蓄積度チェック
初任者研修 【作業所職員】	7月～8月	・組織におけるチームワーク・援助技術・社会人としてのマナー
定例会 【作業所職員】	8月	・利用者個々に応じた支援方法第1回目
介護技術 【グループホーム職員】【作業所職員】	12月～1月	・車イス介助 ・入浴介助 ・歩行介助

研 修 名	開 催 状 況	内 容
定例会 【作業所職員】	2月	・利用者個々に応じた支援方法 第2回目
自己評価研修 【グループホーム職員】【作業所職員】	3月	・コミュニケーション・責任感・ 協調性・業務遂行等の自己評価
人権研修 【グループホーム職員】【作業所職員】	3月	・強度行動障害と障害者虐待

8. ヒヤリハット報告

発生日	場 面	対応・原因・結果
4月4日	グループホームにて夕食時、隣のテーブルで食事をしていた利用者に頭突きをされた。	職員の一人はキッチン、一人は倉庫で利用者の食事介助を疎かにしており、状況も把握していなかった。頭突きした方はヘッドギアを着用していた為、衝撃が緩和されていたが、職員の危機意識が薄れていた。
5月23日	グループホームにて朝食準備中、隣のテーブルに座っていた利用者の頭を叩き、叩かれた利用者が鼻血を出してしまった。	利用者間のトラブルを防ぐ為に2つのテーブルの間に簡易パーテーションを設置して視覚を遮り食事をすることを決めていたが、使用せず、見守りが不十分だった。
6月9日	体育館にてプログラムの散歩をしている時、つまずいて膝を打撲した。	職員が横に付き添って散歩していたが、体育館シューズに履き替えていないことに気づかず、履いていた靴の踵を踏んでいたため転倒した。
6月20日	グループホームにて、22:30分頃居室から物音がしたので確認にするとベッドの下に尻もちをついて転倒していた。	体育館で転倒した利用者と同じであった。ベッド柵を購入して転落防止対策を行った。その後も足元が不十分の為、整形外科を受診。膝の軟骨がすり減っているとの事で痛みが伴い歩くことができなければ手術するよう診断された。
8月18日	作業所にて、朝の送迎後、エレベーター内に3人の利用者に乗せ、2階で1人降ろしている時にエレベーター内にいた利用者が叩いてしまった。	エレベーターでの誘導は個別で対応していたが、職員が大丈夫だと思い込み手順を省いた。グループホームにて叩かれた経緯のある利用者同士に乗せた状態であり、職員が考えずに誘導していた。

発生日	場 面	対応・原因・結果
8月22日	作業所男性ロッカーにて、利用者がこだわり行動をしている際に足がもつれ転倒して床に後頭部を打ち付けた。	救急車で病院に搬送をしたが特に異常はないとの診断であった。職員はいつもの事と気を緩め別の事をしていて見守りをしていなかった。
11月8日	グループホームを利用されている方から作業所到着後、好きな歌手のCDが欲しいと訴えがあり、すぐには用意できないから後日になることを伝えると、机を蹴って大声を出し続け、泣きわめくことが一日続いた。	ご家族に電話で事情を説明してからネットにてCDを購入し、翌日CDを渡す事で納得された。同作業部屋の利用者が情緒不安定になったので安全を優先して希望する利用者も含めて別の作業部屋に移動してもらった。
11月14日	作業所にて隣の席に腰かけた利用者に頭突きをした。	職員が自分の手を挟んですぐに止めた。ヘッドギアにより衝撃は和らいでいた。
1月15日	作業所にて紙袋の作業をしている際、利用者が文字書きに使用しているボールペンが作業机に残っており、納品する紙袋にインクが付着してしまった。	納品業者に謝罪を行う。過去にも同様なことがあった為、個別支援計画にも記載されており、利用者の支援留意事項としても説明をしていたが職員の意識が不十分であった。
1月18日	作業所からグループホームに帰宅した際、エレベーターホール前で待機していた利用者が隣にいた利用者にビンタをした。	職員2人で対応していたが、利用者同士の関係性をまったく意識していなかった。職員が利用者の中に入ることや距離を離すこともしていなかった。誘導方法も個別対応にすることを徹底した。
3月28日	利用者の発熱に伴い、協力医療機関に受診するよう職員に指示を出した。診察時に、職員と利用者がマスクをしておらず、医師から連絡が入った。	診断結果は新型コロナ陽性であった。 職員がマスクもせず、笑いながら自分も発熱があった事を伝えた為、危機管理が無さすぎると連絡が入った。職員には注意を行い、改めて感染症について伝えた。
3月31日	利用者のご家族がグループホームの居室を確認したところ、ベッド下にアリが発生しており、掃除をしていないと注意を受けた。	グループホーム職員全員に聞き取り確認をしたところ、掃除はほとんどしていないことが分かった。ご家族に謝罪をして、職員に改めて掃除の徹底をするよう指示書を出した。

9. 事故報告

発生日	内 容	対応・原因・結果
8月4日	朝、利用者を迎えに行く際、送迎車の左側面を電柱に擦り損傷させた。	勤務して2ヶ月後の事故だった。 車の運転は数回練習をしたが問題がなかったため業務をさせていた。
10月28日	グループホームにて昼食後薬を誤って他の利用者に飲ませてしまった。	医師の指示に従い様子を確認したが異常はみられなかった。 派遣社員の方を雇用して約2ヶ月後の服薬事故であった。手順を省いて確認を疎かにしていた。
11月6日	送迎待機場所がカーブになっている為、毎回前後調整をして止めていたが、いつもより後方に駐車した際、左後ろバンパーに標識が当たってしまった。	プラスチック製のバンパーが少しくぼんだ程度だった。その後、送迎待機場所の変更があった為、以前よりリスクはかなり軽減されている。
12月31日	グループホームから一時帰宅された際、ご家族から背中に多数の湿疹があると連絡を受けた。診断結果は帯状疱疹であった。	ご家族の方から自宅療養を希望された。普段から体調の確認や身体状況の確認が不十分であったと謝罪をした。 特にグループホームでは毎日入浴時に身体の状態を把握するよう周知した。
1月26日	朝食後薬を別の利用者に飲ませてしまう。	派遣社員が初出勤の為、服薬は送迎後、介助職員と一緒に提供することを伝えていたが、指示を聞かず自分で提供していた。誤って飲ませてしまった薬が胃薬、痛み止めであった為、様子観察で体調不良はみられなかった。
3月6日	作業所にて2階踊り場で荷物を抱えてこだわりをする利用者に職員が荷物を置いてからにしようとして肩に手をかけた際に、手を振り払いバランスを崩して消火器に頭を強打した。	応急処置をした後、意識もしっかりしており止血もできたので、事故から20分後、脳神経外科にて処置をしてもらう。 階段踊り場での対応は控える事と加齢に伴い僅かな反動でも転倒するリスクを話し合った。

10. 授産活動 収入表

業者等	令和4年度収入	令和5年度収入
1. (有)アユータ	127,558	71,196
2. (株)松岡紙工	32,739	24,366
3. 福祉の店なかま	30,130	70,931
4. 園路清掃	412,500	412,500
5. 太鼓演奏	5,000	0
6. 自主製品	116,305	170,880
合計	724,232	749,873

●一人当たり工賃支払い額 月額3,000円 賞与年2回 6,000円

●収入749,873－840,000（20人分工賃額）＝－90,127円

●授産口座（授産材料代・工賃）より補填、残金：約400,000円

11. 年間行事記録表

4月	・なかまの店・軽運動・室内太鼓練習
5月	・軽運動・伊丹スカイパーク
6月	・軽運動・太鼓練習・なかまの店・体育・みんなの会
7月	・七夕まつり・軽運動・太鼓練習・体育
8月	・軽運動・DVD鑑賞・みんなの会・太鼓練習・創作アート
9月	・梅花高校文化祭・軽運動・体育・太鼓練習・創作アート・なかまの店
10月	・体育・仮装・なかまの店・軽運動・創作アート
11月	・軽運動・なかまの店・創作アート
12月	・啓発パネル展・クリスマス会・なかまの店・軽運動・DVD鑑賞・みんなの会
1月	・初詣・ビンゴ大会・軽運動・創作アート
2月	・節分豆まき・軽運動・太鼓練習・創作アート・なかまの店
3月	・ひなまつり・軽運動・障害者アート展・太鼓練習・創作アート・なかまの店

12. 消防関係

● あさひ会作業所

機器点検・総合点検 令和5年11月16日

消火器具	異常なし
スプリンクラー	ポンプ制御盤不良 改修済み
自動火災報知設備	異常なし
消防機関へ通報する火災報知設備	異常なし
避難器具	異常なし
誘導灯	異常なし
坊排煙制御設備	異常なし

避難訓練日時	9月28日(木) 午前10:28分~30分
参加人数	利用者20名 職員11名 調理師1名
出火想定場所	あさひ会作業所1階 調理場
<p>・非常ベルが鳴っても情緒不安定になる利用者もなく移動ができていた。職員は訓練だと分かっているからか、だらだら避難している印象が伺えた。</p>	
避難訓練日時	3月26日(火) 午前10:32分~48分
参加人数	利用者19名 職員9名 調理師1名
出火想定場所	あさひ会作業所1階 調理場
<p>・不慣れな職員が数名おり、事前に説明をしたものの非常ベルが鳴ってもエレベーターで利用者を避難誘導させていた。</p>	

● 東豊中サンライズ

機器点検・総合点検 令和5年5月26日

消火器具	来年新品に取替要す。
火災報知設備	異常なし
誘導灯	異常なし
特定小規模施設用 自動火災報知設備	異常なし
パッケージ型自動消火設備	異常なし

避難訓練日時	10月11日（水）午後4：30分～33分
参加人数	利用者5名 職員2名
出火想定場所	東豊中サンライズ1階 キッチン
避難自体は問題なくできていた。ただし、コンセント付近の清掃が不十分な所が多く、埃から火災につながる恐れがあると感じたので、環境面を見直していく必要があると思った。	
避難訓練日時	3月21日（木）午後4：25分～27分
参加人数	利用者5名 職員1名
出火想定場所	東豊中サンライズ1階 キッチン
避難訓練を実施中、こだわりを優先することがあり、少し手間取った。	

● 服部西町ホーム

機器点検・総合点検 令和5年8月24日

消火器具	異常なし
スプリンクラー	異常なし
自動火災報知設備	異常なし
消防機関へ通報する火災報知設備	異常なし
避難器具	異常なし
誘導灯	異常なし

避難訓練日時	10月11日（水）午前9：00分～4分
参加人数	利用者10名 職員4名
出火想定場所	服部西町2階 キッチン
前回の同時間帯では発作を起こしている利用者がいたので、実際の災害時に体調不良が起きている利用者に対応するの事前に考えておく必要があると思った。	
避難訓練日時	3月22日（水）午後4：10分～13分
参加人数	利用者9名 職員3名
出火想定場所	服部西町1階 キッチン
普段エレベーターを利用されている方々は階段を利用すると足元が不安定で一人で誘導することの難しさを経験した。	

13. まとめ

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことによって、濃厚接触者の外出自粛が求められなくなり、マスク着用も個人の判断に委ねられることとなりました。(利用者の方々や福祉施設においては推奨) 3密の工夫を維持しつつ、5月には3年ぶりの外出レクリエーションにグループごとに分かれて、短時間でしたが実施することができました。久しぶりの開放的な気分に清々しい天気も相まって、気持ちが穏やかになったのを実感しました。

しかしながら、新型コロナ感染症に罹患される方は2件5名いましたので、集団での日中活動、生活支援においては感染することもやむを得ない場合がありますが、最小限の被害感染に防止できるよう危機管理をもって取り組みたいと思います。

人事については、現状、求人募集をしても応募が極端に少なく、一時的に派遣業者から職員を派遣してもらうことで配置体制を整えてきましたが、たとえ短期間であっても利用者の安全と権利を守り、必要な支援を求めてきましたが、多様な経験を積んでいるからこそ「郷に入れば郷に従え」のことわざのように対応してくれるとは限らず、人間関係が複雑化になり、今までの業務手順を踏襲しなかったことで問題が一部発生しました。

一方で、法人と直接雇用関係を結んでいる職員につきましても指示された業務が継続できずに疎かにしてしまう案件も目につくことがあり、一部、就業規則に反する行為で口頭注意、指導をせざるを得ない事情もありました。すべての責任において、管理する力不足を感じています。これら課題や問題を少しでも解決、改善できるよう努めてまいります。

育児休業を取得していた職員3名が復帰しましたので、現場に厚みが増し、支援等々のスキルやコミュニケーションが充実しましたが残念な事に退職する方もいますので、また、時間はかかりますが、一から積み重ねていくことで人材育成、長期定着の目的を果たしていきたいと思えます。

結びに、令和4年度から実施している「障害アート展」(豊中市障害者啓発活動委員会企画)において、布をキャンバスに見立てて染めた「のり染め絵画」や独特な文字を書き連ねた「書道」を数点出展してきました。毎回、他の事業者さんの作品に感銘を受けていますが、あさひ会の利用者も堂々と感性豊かな作品に仕上がっています。「太鼓」が好きな人「アート作品」が好きな人「内職」が好きな人、「マイペース」が心地いい人、それぞれにとって大切な活動の場であり続けることができるよう支援していきたいと思えます。